

開 心
静 聴
充 満
献 身
奉 仕

日本クリスチャン・アシュラム連盟

夏 季 号

日本アシュラム

SUMMER 1985

United Christian Ashrams of Japan

51



マッシュューズ博士夫妻

ジム・マッシュューズ博士を迎えて

「日本アシュラム三十年」感謝会

今 秋 九 月 各 地 で 開 催

日本クリスチャン・アシュラムが故スタンレー・ジョーンズ師により初めて開かれたのは、一九五五年の二月天城山荘において三泊四日間、百数十名の参加者一同が今まで経験したことのない靈感を受けた時でありました。この事は前号にも記した通りです。そこで今年は第一回から丁度三十年になるので、今日までの主のお導きと、内外からの多大な協力によって、連盟参加の地区のみならず、全国各地の教会や信徒の生活の中にまで浸透してきたことを感謝して伝道会や記念のアシュラムを催すことになりました。

その講師として、ジム・マッシュューズ博士をお迎えします。同師については既に一九八二年九月に関東、関西、四国、九州のアシュラムを指導して頂き、また東京碑文谷、大阪扇町と松山の三教会で伝道説教をお願いしましたから御存知の方も多くあり、昨八四年十月にも再度来日されて、札幌、東北、東京における諸集会で力強いメッセージを取次がれて深い印象を残されています。

従って今回の来日は師の三度目に当りますので、親しみを増した中で更に豊かな恵みを受ける機会となることを信じ、私共一同心より祈り続けて、お待ちしたいと思います。

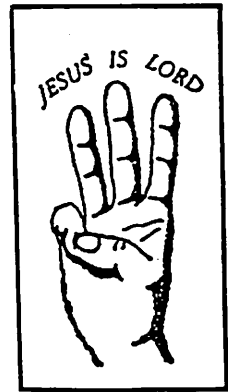
尚まだ御存知ない向きのため、ここで少しばかり講師の紹介をしておきましょう。マッシュューズ師はまず第一に故スタンレー・ジョーンズ博士の娘婿で、父亡き後、北米アシュラムは勿論のこと、国際アシュラムの委員長として有力な世界的指導者であります。一九一三年伝道者の子として生れ、主の召命を受けて神学校に在学中、スタンレーの説教で決断を与えられ、卒業するとすぐインドに赴任したのは、スタンレーより三

十年後のことでした。サトタル・アシュラムに出席、創始者スタンレーに捕われ、その一人娘ユニスと結婚し、父の伝道を助けました。インドの教会監督に選ばれたが辞退し、帰米すると米国のワシントン地区やボストン地区の監督に挙げられ、七九年まで多くの教会や神学校のために奉仕された先生であります。その後 は亡父の建てたインドのアシュラムのため、毎年出かけると共に、全米數十ヶ所を初め、世界各地のアシュラムを指導され、諸教派、諸宗教、諸国家間に『和解の福音』を説き、また諸事業を通して実践されています。その容姿は岳父スタンレーに似て大型の悠々迫らぬものあり、信仰、人格、見識をもつて、主なるイエスを強力に証しする世界人であります。スタンレーの遺著「神の然り」は同師夫妻の尽力によって出版されたことは読者の知られる通りです。

日本到着は来る九月十四日(土)、翌十五日(日)は碑文谷教会礼拝。十六日(日)は四国アシュラム。十八日(日)は九州アシュラム。二十一日(水)は関西アシュラム。二十二日(木)は関東アシュラム。翌二十六日(日)はサトタルへ赴かれます。一人でも多くの方が師の声咳に接し新しい霊力を受けられるよう祈る次第です。

りであつて、常に新しい家族(単位)の参加を期待している。

定価 一部60円 千60円



アシュラムの誓約十則

- ▼私は次のような規則正しい生活習慣を守ることを、神と同信の友とに誓います。
- 一、私はイエス・キリストに私自身を余す所なく完全に明渡し、服従します。
- 二、私は毎日聖書と祈りと黙想とにより、静聴の時を守ります。また祈りのグループに加わるか、近くにない時は新しい細胞を作ります。
- 三、私はイエス・キリストに承認されない全ての習慣を捨てます。
- 四、私は与えられた神の賜物の忠僕として収入の十分の一と私の時間と能力とを献げます。
- 五、私は神がアシュラム運動とその協力者を起し、神の清い器として守られるように祈ります。
- 六、私は職業を、私の行動と反応とにより信仰を証しする機会とし、できるだけ直接的にキリストが私にとって何かを証します。
- 七、私は愛をもって生活方式とし、

全ての人を「キリストが彼のために死んで下さった」兄弟と認め、待遇します。

八、私は以上の誓いを守ることができよう日々、に聖霊の援助を求めます。

九、私はこれらの規律を、宇宙的教会との不断の交わりを以て、各個教会の中で実行します。

十、私はこの誓いの諸点を命令としてではなく、恵みによる可能性と認め、自己にきびしく他人には柔和に致します。(トランスフォーメーション誌一九八三年冬季号より)

立証

はかり知れぬ恵み

松沢 ミツ

「目がまだ見えず、耳がまだ聞かず人の心に浮びもしなかつたことを、神はご自分を愛する者たちのために備えられた。」(第一コリ二章九)

私の息子が中学を卒業する頃は、金の卵として喜ばれた時代でした。兄と姉とは大学に出したのに、弟を中学で引かせるのは辛いと思っていた矢先、一月四日に家出をし、十数人の集団で方行知れず、十日間が過ぎてしまいました。漸く東京の印刷屋で働いていることが判り、中学の先生が引取りに行つて下さり、進学がいやで家出をした事が判明、大学進学を断念せざるを得なくなりまし

た。そこで就職をと、電々公社の採用試験を受けさせ入社決定し、ホッとしたのも束の間、頂いた賞与五万円を一晚で大人にだまされ、失ってしまった。その後の生活は段々泥沼に入りこみ、すぐ腹を立てては喧嘩をし、何度も警察に貰い下げに行きました。そうした生活が続く中で、ある組織の人物を目指し、種々の事を身につけるようになりまし。それを見るたびに断腸の思いで祈りました。身を切り刻まれる様な毎日、娘とも心を合せて祈りました。アシュラムの祈禱室でも祈りました。信仰がなかつたら発狂していたかも知れません。昔ハンナの祈りに答えて下さった神様は今も変わらず涙の祈りに答えて下さると信じ、全能の神を信じ、大きな期待と深い信頼をもって、沖繩の折田牧師に祈つて頂くことにしました。所がある日曜日、の礼拝中、彼は招きにに応じて前に進み、主によつて全く救われ、十一年間の祈りに神が答えて下さいました。本年(八二年)春、東京神学大学を卒業する事ができ、無きに等しい者をあえて選ばれた主イエス様を心より拝する事ができ感謝です。今思うと、そうした組織の中の泥沼を垣間みたことも、今後の伝道に役立つに違いありません。神の御計画は到底私たちには計り知る事ができません。今は親子共々、主イエスの痛みを深く思い、全力を尽してお従いする覚悟です。(深谷教会員)

何もかもすばらしい

遠藤 総子

秋も深まったある日私はポストの中に一通の手紙を見つけました。成瀬の植村牧師からの二五周年記念日本アシュラムの案内書でした。それは実に愛の宝庫に招かれる恵みの便りでした。続いて今年の関東アシュラムと二回出席しました。み言を静聴し、分ち合い、祈り合い、讚美し合い、まさに楽園の交わりの時であることを知りまし。生きること、迷い、生活の重荷にひしがれ、心の空しさを感じている方がおられたら、このアシュラムに加わりませんか。

「イエスは主である」ことを受け入れ、勇気を以て「全てを主に明渡す」時、私たちはもう一つの新しい人生を歩み出すことができます。

会場までの道すがらの景色の美しさ、ブレイクの時に眺めた富士を背にした自然のすばらしさ、神のみわざに驚嘆させられました。その時、ふと「カラマーゾフの兄弟」の中の一節「神様の恵みをごらん。晴渡つた空、清らかな空気、しなやかな草、小鳥、自然は実に美しく無垢な姿をしているではないか。それなのに唯我々ばかりは愚かにも、神を信じないで、人生が楽園だということを知らずにいるのだ」を思い出しました。神のみわざを知り、更にす

アシュラムの五大原則

好評・再版出来

海老沢宣道著

ばらしい私たち自身の存在に気づくように、自然は人間を取り囲んでくれるのです。

朝ごとに御前に静聴の時を持ち、霊的状态を整え、永遠の生命を確認しつつ、いついかなる時にも真の光に照し出され、人々がそれを見て新生命を見出すようになって頂きたいものです。
(桜美林教員)

以上は「関東アシラム」で証しされ、三年前の同紙上に発表されたもの、全国の同志、教友にも恵みをお分ちしたく、転載した。

アシラムの恵み

飯島延浩

私は九月二日より古里福音の家で開催された関東アシラムに参加させて頂きました。あわただしい社業から離れ、三日間昼も夜も聖書のみ言葉に浸って、もっぱら主のことのみを考える時を与えられ感謝で一杯です。この関東アシラムには特別なニードを持って出席させて頂きました。

実は、船橋インマヌエル教会で伝道集会があるのでお証詞をしてほしいとのこと、お引受けしたのですが、なかなかその準備が進まず、アシラムでは是非その準備をさせていただきますと願っておりました。

三日間のアシラムの実践と祈りの中で私のニードは見事に答えられました。二日目の連鎖祈禱の中でヨネ伝十五章二六、二七節のみ言葉が与えられました。

真理の御霊すなわち聖霊なる神がイエス様のことをあかしして下さる

霊交の歌

十字架の痛み

山根可弼

身の痛みひとりつぶさにわれ覚ゆ主の十字架のいかにとぞ祈る

身にうけしいかなる痛み苦しきも十字架の主を仰ぎてぞ勝つ

十字架の主のみ仰ぐわが身はその痛みをも共に仰ぎつ

カルバリの主をば仰ぎて立ちし身はその痛みより愛に捕われ

だから安心して聖霊なる神に委ねておあかしをすればよいと私は考えておりました。しかし、二七節のみ言葉に接し、私の考えは甘かったと反省いたしました。「あなたもあかしするのです。初めから私といっしょにいたからです」というみ言葉

(四) 神の国の体験と献身
(五) 教会への奉仕と伝道

は二千年前の十二人の弟子にイエス様がおっしゃったみ言葉であるばかりでなく、今直接イエス様が私に對しておっしゃっているみ言葉であると感じました。受洗以来十年いろいろな事を通して主は私共、私の会社、私の家族を導いて下さいました。私達の周囲に主の業が起り始めたその最初から主イエス・キリストは私共とともにいて、生きて働いて下さったのだと改めて知らされ、そのことをおあかししなければならぬと考えました。主の御用のため、心の備えをさせて頂いていただきましたことを、心より感謝いたしております。
(池の上ホーリネス教員)

日本アシラム三十年の

感謝献金を受付中

第一面記事の通り、わが国にスタンレー・ジョーンズが初めて「アシラム」と称する退修会が開始されてから、今年は丁度三十年を迎えました。この間創始者を立て、私たちを導き給うた主イエスに、感謝の心を表わし、後継者マシューズ博士を迎えての記念行事のため、皆様のお金を寄せ頂きたくお待ちしています。
連盟事務局

スタンレー博士に親しく指導を受けた著者がアシラムの五大原則と守り方を平易に解説。

新刊好評

サトタル・アシラム指導者
D・P・タイタス著
植村俊雄 訳

「御国を来らせ給え」

神の国に就ての研究

A 6判4C頁定価二百円千七〇円
スタンレーの後継者インドのタイタス師の名著

スタンレー・ジョーンズ博士の遺著

神の然り

B 6判 220頁
定価1200円 送料250円

〈キリストに明け渡した人生〉

海老沢宣道 訳

日本を愛し、戦後十回の伝道を終え帰米後
卒中に倒れた病中口述された万人への遺言、
宇宙人生の真理を探究する者の必読書。

発行所 日本クリスチャン・アシラム連盟

各地ニュース

○報告の部

▼練馬アシュラム(第三回)

去二月十日(日)―十一日(月) 聖日礼拝から翌日午後三時半まで、聖協団練馬協会にて約百名出席、主題『無くてならぬものは唯一つ』ルカ伝十章四二節、助言者小笠原孝牧師の下、『教会組織の拡大化に欠けているもの、各自の信仰生活を身につけるには』を祈求し、その後は毎月第一日曜日の礼拝後に月例アシュラムを守り、恵まれている。感謝。

▼東京教職ミニ・アシュラム(18)

去三月二五日後、成瀬伝道所で松沢、新原、植村が司会、共に祈る。

▼城南アシュラム(第三回)

去四月十四日(日) 碑文谷教会で神山良雄師の使信『小羊イエス』を受け、主に在る交わりを持った。出席六十七名。

▼城西アシュラム(第九回)

去四月二九日(月) 高円寺教会で主題『内住のキリスト』ガラテヤ書二章三〇節を中心に、満丸、洲江、植村、細川、松沢の諸師が奉仕、出席四〇名。大いに恵まれた。

▼石神井アシュラム(第三回)

去五月六日(月) 朝十時から石神井バプテスト教会で、海老沢、洲江

両師の指導と助言によりイサクとヤコブの信仰から学び、静聴、黙想、祈りと讚美の時を持った。

○予告の部

☐日本アシュラム三十年記念の

▼四国アシュラム(第17回)

九月十六(月)七日(火)、一泊二日 連絡は松山山越の河野修委員長。

▼九州アシュラム(第20回)

九月十八日(水)―二十日(金) 連絡は福岡田隈バプテストの川野直人委員長。

▼関西アシュラム(第19回)

九月二一(土)―二三(日)(月) 連絡は大坂扇町の辻中昭一師。

▼関東アシュラム(第23回)

九月二三(月)―二五日(水) 奥多摩古里の福音の家。

主題「主に在る交わりの喜び」 聖書・第一ヨハネ一章三―四節 連絡は洲江淳一委員長。

○以上四地区の助言者は何れも米国立盟委員長ジム・マッシュューズ博士。

◇第六回国際アシュラム

第六回の世界アシュラム大会が明年一月二二日から四泊五日間、米南ジョージア州の歴史的な聖シモンズ島のメソジスト退修会場で四年振り開催されることになった。テーマは『イエスは諸国民の主、平和の君』である。マッシュューズ、バーグ、ワグナー、ハンターその他各国の有力な

助言者が指導に当る。各国の参加者が人種国境を超えて主に在る交わりを持ち、その中で互いの信仰が育成されるように期待されている。詳しい日程は六月中に各国加盟アシュラムに届くはず。前回のフィンランドには日本から二十名が出席した。今回も多数参加されるよう祈る。申込金は20ドル。宿泊食事は29ドル。以上内外の諸集会のため、同志諸兄弟の日夜の祈りをお願いする。

○個人消息

黒田四郎師 五月十四日満八十九歳のお誕生日を迎えられた。祝賀。

河合光治師 三月限り六十年間の救世軍士官を引退された。感謝。

宇都宮充師 一月に白内障の手術を受け、経過良好。御全快を祈る。

岡田実師 神経痛、腎臓その他のため六月中千葉県の慈恵大分院に入院の予定。御全快を祈る。

大石嗣郎師 去る二月九日セブ島リロアン町に赴き学徒兵同志で集めた四百万円を反日家であった町長に送って完成した体育館の落成式に臨み、日本側代表として挨拶、戦禍を超えて日比友好親善を回復して帰国された。その四日後十三日に御母堂花子姉は満八十九歳で御永眠、謹んで哀悼す。

山根可弼師 去五月十九日(日)に池ノ上教会で昨年一月召天された

恵代夫人の追悼文集「キリストのかおり」の出版感謝礼拝が守られた。

○賛助金感謝

松山・山越教会……………一万円
河野修師……………一万円
累計 五十二万六〇〇〇円

好評・初版売切近し

海老沢宣道著 B6判 204頁 価1000円 千200円

主イエスに就ての黙想

著者が五十余年の伝道生活中、主イエスから頂いた恵みを、静聴により証している。読者は必ずや主のみもとに近づくことができるであろう。

発行所・白夢荘 東京都練馬区三原台1-18 振替・東京4-133392

東京都目黒区中央町1-21-10